

コード	40204
作成年度	23年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	有害鳥獣対策の強化
--------	-----------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115	関係課名	
主管課名	農林課		

## 基本事業の目的

イノシシ・シカによる農作物被害を防止し、生産意欲の向上と経営安定化を図ることを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	被害防止柵等設置	成果指標名称 2	捕獲頭数			
成果指標の積算根拠	電気柵等設置実績÷電気柵等設置計画	成果指標の積算根拠	捕獲実績÷捕獲計画			
目標達成年度	平成23年度	目標達成年度	平成23年度			
目標達成数値	374件	目標達成数値	1,500頭			
年 度		H19	H20	H21	H22	H23
成果指標 1	目標 A	件			374	350
	実績 B	件			374	
	達成率 B/A	%			100.0	
成果指標 2	目標 A	頭			1,500	1,500
	実績 B	頭			2,932	
	達成率 B/A	%			195.5	

1次評価	現状	近年は、農業就業人口の減少・担い手の不足、高齢化、耕作放棄地の増加及び有害鳥獣被害（イノシシ・シカ）による農作物被害が多発し、生産意欲の衰退が危惧される。
	課題	農作物被害の減少を図るため、電気柵及びワイヤーメッシュ柵の設置が必要である。
	改善	農作物被害の減少を図るため、有害鳥獣被害防止に対する相談員の設置、捕獲・駆除の頭数に対する報奨金制度、農業者が自主的に取り組む被害防止柵等に対する支援を行い、被害防止対策を強化していく。
2次評価		補助率の引き上げにより防護柵の設置も増加しているが、猪肉加工との相乗効果をさらに引き出すことが課題として残っている。今後も有害鳥獣による農作物の被害を防止し、生産意欲の向上と経営の安定化を図るため、被害防止対策を強化していくこと。
住民等の意見		
町の対応		

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。